

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 27 日 作成
20年度決算把握後 平成 21 年 6 月 1 日 作成

事務事業名	訪問指導事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合計画 体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	健康福祉部	課長名 中山 輝一郎
	施策	15	健康づくりの推進	所属課	健康づくり推進課	担当者名 上野 茂
	基本事業	44	病気の早期発見	所属班	国保年金班	(内線) 2165
				法令根拠	国民健康保険法第82条	

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	3
	10	8	1	1	10376			コスト削減優先度評価結果	11
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度		10	年度)	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
看護師、栄養士の訪問によるドック、検診後の事後指導による合志市民の健康の維持改善のための事業。
【業務の流れ】
検診等の結果から要指導者を選出し、訪問指導を行う。定期的な病院での受診をしていれば受診の勧奨、食生活に問題があれば食の改善や栄養指導を行う。
【主な予算費目】
08保健事業費 01保健衛生普及費 1報酬 11需用費 12役員費 27公課費

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 結果通知を待って訪問を実施。 20年度から、基本健診から特定健診に変更	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 同左
	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 訪問回数 回 イ 受診者数 人
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 特定検診、人間ドック受診者。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 特定検診、人間ドック受診者数 人 イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 異常があったことで改善すべき点を正しく実践してもらう。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 異常があって改善できた人の割合 % イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 病気を早期に発見できる。	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 健康診査等への受診率(基本受診率)※H20年度から特定健診になる。 % イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 目 標 合 計 値 画 22 年 度	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円			1,879	4,663	6,688	6,690		6,690
		一般財源	千円	5,857	5,925	4,811	1,613				
	(A) 事業費計	千円	5,857	5,925	6,690	6,276	6,688	6,690	6,690		
	うち指定経費	千円									
	うち時間外、特殊勤務手当	千円									
	人件費										
正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	2			
延べ業務時間	時間	170	40	50	60	60	60	60			
(B)人件費計	千円	675	159	199	239	239	239	239			
トータルコスト(A)+(B)	千円	6,532	6,084	6,889	6,515	6,927	6,929	6,929			
活動指標	ア イ	回 人	407 407	490 490	700 700	444 444	700 700	1,100 1,100	1,560 1,560		
対象指標	ア イ	人	5600	5168	5200	2728	3,500	4,400	5,200		
成果指標	ア イ	%		33	50	37	40	42	45		
上位成果指標	ア イ	%	38.9	36.9	45	23.4(※31.4)	49	55			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
医療費適正化のため、県の準指定を受け医療費削減のため開始。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
三位一体改革により平成17年度までで国の補助が打ち切られたため、平成18年度から単独事業として取り組んでいる。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
個人情報取扱いに慎重に対応して欲しい旨、意見あり。

事務事業名	訪問指導事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	--------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 異常があった場合改善点を実行してもらい、健康な状態になることで結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 正しい受診を実践することで過剰な受診を抑止でき、医療費の低減につながる。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 検診結果通知について同意を得られた場合でなければ結果を知ることができないため限定が必要である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 国保加入者の理解を深め対象者の増加を図る。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 医療機関受診や薬剤の服用について正しく実践されなくなれば結果的に医療費の高騰につながる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 類似事業なし <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 費用の殆どが嘱託職員の報酬であり、削減できない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 正規職員ではなく嘱託職員で対応しており、削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 検診や人間ドックは個人から負担をしてもらっているので公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	国保加入者の理解を深め対象者の増加を図らなければならない。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																	
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持 低下			
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上		○															
	維持 低下																	

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策なし

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	5	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	6	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)